

いがおえ工

やっぱり夏は砂療法!!

ニックネーム:

本誌へのメッセージ:



きりとり

ほっとニュース

夏フェス開催予告

今年も夏の恒例イベント、夏フェスの季節がやってきました。皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思ひます。お気軽に足を運んでください。

日時: 8月4日(木) 18:15~21:00

場所: 当院グラウンド(雨天時は体育館)

イベント内容

- 盆踊り
- 流し灯籠
- 花火
- 模擬店、夜店
- 余興(よさこい、バンド演奏等)



いろいろなイベントを企画し、皆さんのお越しをお待ちしております。

●外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	初診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制
	再診	高山	中澤	林	西浦	鈴木
午後	再診			宇佐見	山村	
		河合	西浦	宇佐見	高山	大井
			野村		山村	

担当医は都合により変更になる場合があります。ご了承ください。

理念 ささえあい、ともに生きる

基本方針

- 患者さまや地域の皆さまに、信頼され選ばれる病院づくりを行います。
- 患者さまが地域で快適な生活が送れるよう、積極的にサポートします。
 - 患者さまの人権を尊重し、きめ細かく配慮します。
 - 患者さま一人一人の治療プランに添った医療を行い、一日も早い家庭・社会復帰を目指します。
- 地域におけるメンタルヘルスに積極的に取り組みます。
 - 医療の質向上に向けて日々研鑽を積みまます。

編集後記

今号は「運動会」などをお伝えしました。さて、広報委員のスタッフは「Live with すずか」の名のとおりに、皆さんと一緒に創っていきたくて考えております。本誌へのご感想やご要望・ご意見がございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL・059-382-1401(代表) FAX・059-382-1402
Eメール・info@skh.miekosei.or.jp

三重厚生連 鈴鹿厚生病院

第46号

2016.7月

発行/三重県厚生連鈴鹿厚生病院
編集/TCK 名古屋
所在地/三重県鈴鹿市岸岡町589-2
TEL/059-382-1401
ホームページ/http://www.miekosei.or.jp/skh/

ともに生きる... Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌



5月12日(木) 病院グラウンドにおいて、運動会を開催しました。当日は絶好の運動会日和で暑いぐらいの中、借り物競争・綱引き・大玉転がし等の競技に加え、車椅子の患者さんもパン食い競争や玉入れなどに参加できるように工夫し、大勢の方が楽しむことができました。今年の仮装行列はオリンピックイヤーということでテーマを「夏季オリンピック・パラリンピック」と決め各病棟・デイケアによる工夫を凝らした仮装行列で大いに盛り上がりました。エキシビジョンでは職員対抗綱引きで看護・コメディカルと一緒に綱を引く姿は一見の価値がありました。また今年は綱引き最終戦を女子職員だけで行い、激しい戦いが行われました。レク担当者によるフランクフルト・コロケ・ジュースなどの模擬店もあり、観客の皆さんにも好評をいただきました。参加した患者さんからは「良い運動になった」「みんなで楽しくできた」などの声が聞かれ、楽しんでいただけたと感じました。皆さんの協力のもと事故もなく無事終了ことに感謝申し上げます。来年度の開催も楽しく盛り上がるように頑張っていきたいと思ひます。



心の健康セミナー 誌面版

心の健康セミナー誌面版は「こころ」に関するテーマに沿って
毎月連載していくコーナーです。

テーマ ご挨拶



医師
宇佐見 彰浩



平成 28 年 4 月から鈴鹿厚生病院に着任しました宇佐見彰浩と申します。平成 19 年に三重大学医学部を卒業後、初期研修を経て平成 21 年から精神科医師として臨床に携わっています。1 年目は三重大学医学部附属病院、2 年目に鈴鹿厚生病院で勤務させていただきました。その後は大学病院で臨床に従事しつつ、児童精神について学んでおりました。

鈴鹿厚生病院では、様々な職種の方が、患者さんに寄り添う姿に感動したことを覚えております。この度、鈴鹿厚生病院で再び働くことができるともうれしいです。病院の基本方針にあるように患者さんや地域の方に信頼される医療ができるようがんばっていきたいと思います。これからよろしくお願いいたします。

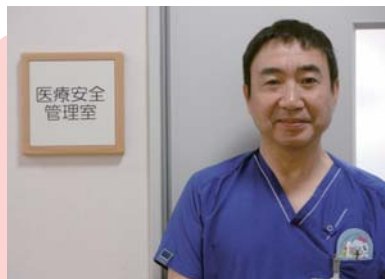
新しく赴任した医師を紹介いたします!



医師
大井 元泰



大井元泰(おおいもとやす)と申します。以前に縁あって、こちらに勤務させていただき、今年 4 月から再び、腰を据えて働かせていただくことになりました。またこの病院で勤務できることを大変嬉しく思います。私生活では、ここ数年、溢れる情報とモノに溺れそうになりましたが、断捨離の精神を胸に、日々、頭の中身と部屋の片付けに楽しく邁進しております。現世には誘惑が多く、モノへの愛着が強い自分には、シンプルに生きることが大変に難しい、と実感させられる日々です。そんなわけで、一緒に頭の中を整理しながら、どうすれば生きやすくなるかを手探りで考えていきたいと思います。それでは、よろしくお願いたします。



スマイリー バトンリレー

医療安全管理室

鈴

鹿厚生病院の職員が安全な医療の提供を続けることができるよう、現場からのリスク情報提供を分析し、原因や要因を洗い出し現場で生かせるように多職種で対策検討を行なっています。医療業務を行なうにあたって専門的な知識や技術は必要なことですが、それを補う安全で効率的な業務に貢献する状況認識スキルや、社会スキル、個人の人的資源が医療の発展と共に安全な医療を提供するための必要不可欠なこととして求められています。患者さんや職員の安全が守られるよう情報の提供・共有を行い、現場での危険予知が高まるような活動を目標に日々業務に努めています。

枝豆とトマトの冷製パスタ

枝豆は「畑の肉」と言われる大豆が成熟する前に収穫されるものであり、たんぱく質、ビタミンB1、カリウム、食物繊維、鉄分などを豊富に含んでいます。ビタミンB1は糖質をエネルギーに変えるのを助ける働きがあるので、スタミナ不足の解消や疲労回復に効果があると言われています。「トマトが赤くなると医者が青くなる」と言われるほど、トマトには様々な効果があります。真っ赤なトマトはリコピンが多く含まれているので抗酸化作用があり、がん予防、老化の予防や綺麗な肌を保つ美容作用などが期待できます。

枝豆とトマトの冷製パスタ DATA

■エネルギー /555kcal ■塩分 /1.8g

材料 (1人分)

スパゲティ 80g
枝豆 (さや付き) 50g
トマト 1/2個
エビ 5匹
オリーブオイル 大さじ1
酢 大さじ1
塩 少々
黒こしょう 少々
コンソメ顆粒 小さじ1



作り方

- 1 枝豆は茹でて、さやから外し冷ましておく。
- 2 エビは茹でて冷やしておく。
- 3 トマトは1cmほどの角切りにする。
- 4 ボールに③のトマト、①の枝豆、②のエビを入れて、オリーブオイル、酢、塩、黒こしょうを入れ混ぜ合わせておく。(冷蔵庫で冷やしておくで冷たくて美味しい。)
- 5 コンソメ顆粒を大さじ 2 杯程のお湯で溶かし、100ml の冷水を加えスープを作る。(冷蔵庫で冷やしておくで冷たくて美味しい。)
- 6 スパゲティは硬めに茹で、冷水で冷まし、しっかり水気をきる。
- 7 ④のボールにスパゲティを入れて具と味を絡ませてから器にスパゲティだけを盛り、⑤のスープをかける。残りの具材を盛り付け、黒こしょうをふる。

DPAT 活動報告



私たち、医師、看護師、作業療法士、事務員の4名は、5月12日から19日まで、熊本県阿蘇地域へ災害派遣精神医療チーム(DPAT)の三重チーム第6班として派遣されました。余震が続くなか、少しでも被害に遭われた方の心のケアにお役に立つべく、精一杯活動をしてきました。熊本地震による被害に遭われ、今も困難に直面している方々へ、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を心より祈念いたします。

協力施設のご紹介 障害者総合相談支援センターあい



あい西館前



あい面談室

「障害者総合相談支援センター あい」は、障がいのある人、その保護者、介護者のみなさまからの、福祉問題に関する相談に応じ、必要な情報の提供などの便宜を供与し、権利擁護のために必要な相談を行い、障がいのある人が地域で暮らすことを応援しています。大切にしていることは、障がいのある人、その保護者、介護者のみなさまが、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援することです。

「障害者総合相談支援センター あい」は、鈴鹿市亀山市の「総合相談支援事業」として、障がいのある人、その保護者、介護者のみなさまが、安心して地域で生活できるように、社会参加支援、自立生活支援、就労生活支援を重層的に組み合わせながら、地域のネットワークを活用し、その人らしい生活を営むことができるように支援しています。「基幹相談支援事業」として、総合的な相談(困難ケース)、地域の相談体制の中核的な役割、障害者の権利擁護などの機能を担っています。そして、「鈴鹿亀山圏域就業・生活支援センター あい」として、障がいのある方々のお仕事についての支援をしています。それ以外に、療育等支援事業や精神障がい者地域移行・地域定着支援事業の委託を受けています。精神障害者地域移行・地域定着支援事業では、精神病院とピアサポーターの連携支援、啓発活動を行うとともに、支援機関による地域支援ネットワークを整備

information

TEL 059-381-1035
〒513-0801
鈴鹿市神戸一丁目18番18号
http://ai-10.sakura.ne.jp
相談受付時間/平日9:00~16:00

して地域の課題の解消に向けた取り組みを行っています。そして、地域の自立支援協議会を主体的に活用し、より良い支援基盤、より良い地域づくり、資源の開発などに積極的に取り組み、地域福祉の向上に努めています。

作業療法 作品紹介

作品
「マンダラモビール」

作者のコメント

マンダラモビール完成
手間がかかります。

